

世界一の億万長者はメキシコに

米国のビジネス誌「フォーブス」が発表した「2011年世界長者番付」において、メキシコ人実業家のカルロス・スリム・ヘル氏が2年連続で首位となりました。その資産額は740億ドル（約6兆円）と言われています。また、長者番付の国別ランキングではBRICs4ヶ国が全てトップ10にランクインするなど、新興国の台頭が目を見く結果となりました。ちなみに、日本からは113位に「ソフトバンク」の孫正義氏、122位に「ファーストリテイリング」の柳井正氏がランクインしています。

カルロス氏は、メキシコ株式市場で最大の時価総額を持つ携帯電話会社「アメリカ・モバイル」のオーナーです。同氏は1990年にメキシコ国営電話会社「テルメックス」を米国のSBC（旧社名、現在はAT&T）と組んで落札し、中南米各地の携帯電話会社に出資する「アメリカ・モバイル」を設立しました。その後、株価の上昇や事業の拡大などにより、2007年に初めて長年「世界一」の地位にあったビル・ゲイツ氏を抜いて「新興国」出身で史上初の「世界一の億万長者」となったのです。

経済成長が著しい中南米の携帯電話事業が、いかに魅力的な投資対象であったかが分かります。

新興国市場では植民地時代の旧宗主国が成功している例が多く、中南米の携帯電話市場でトップシェアを誇るスペインの「テレフォニカ」はその典型例です。しかしその「テレフォニカ」とシェアを争っている「アメリカ・モバイル」は地元で成長した企業であり、「新興国の台頭」という時代の流れの象徴と言えます。

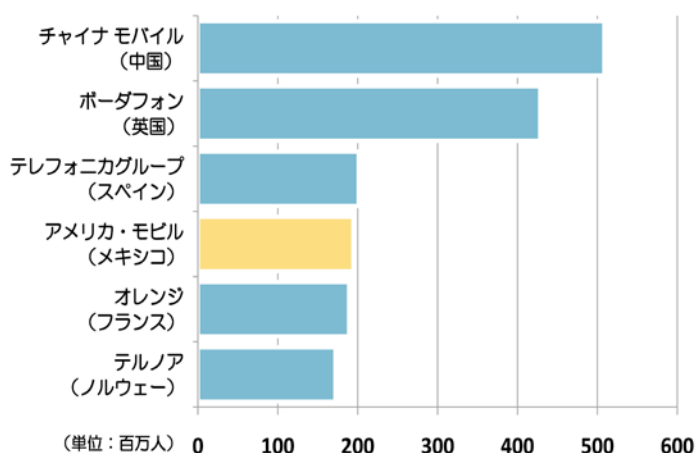
「フォーブス」2011年長者番付

(人数: 1,210人中の該当者)

順位	国名	人数
1位	アメリカ 	412人
2位	中国 	115人
3位	ロシア 	101人
4位	インド 	55人
5位	ドイツ 	52人
⋮		
9位	ブラジル 	30人
10位	日本 	26人
⋮		
20位	メキシコ 	11人

(出所) Forbes

世界の主要携帯電話会社の加入者数



(出所) テレコムデータブック2010

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。<審査番号:58183.OTHER.MED.OTU>
© 2011 Goldman Sachs. All rights reserved.